



認知症に関する意識調査報告書 -県民対象-

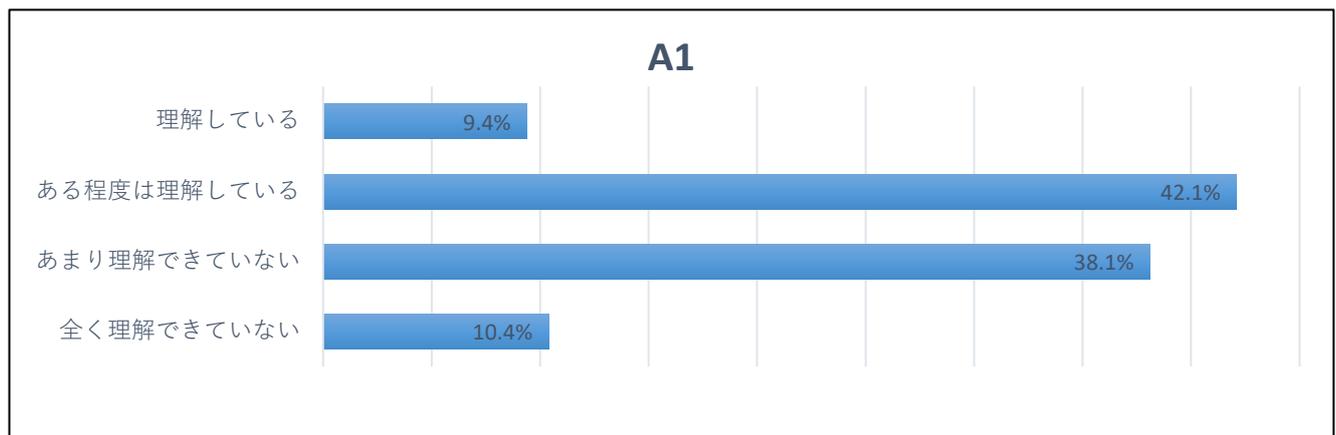
1. 調査概要

- 調査目的: 認知症に対する理解や態度の違いを把握し、普及啓発や支援施策の検討資料とする
- 調査対象: 県民(一般住民)
- 調査方法: オンラインアンケート
- 調査期間: 2025年6月25日～7月4日
- 回収数: 1,000名
- 設問数: 全14問(選択式)

2. 設問別分析

設問 A1: あなたは「認知症」と「認知症の人」に関して正しく理解していると思いますか。最もあてはまるものを1つえらんでください。

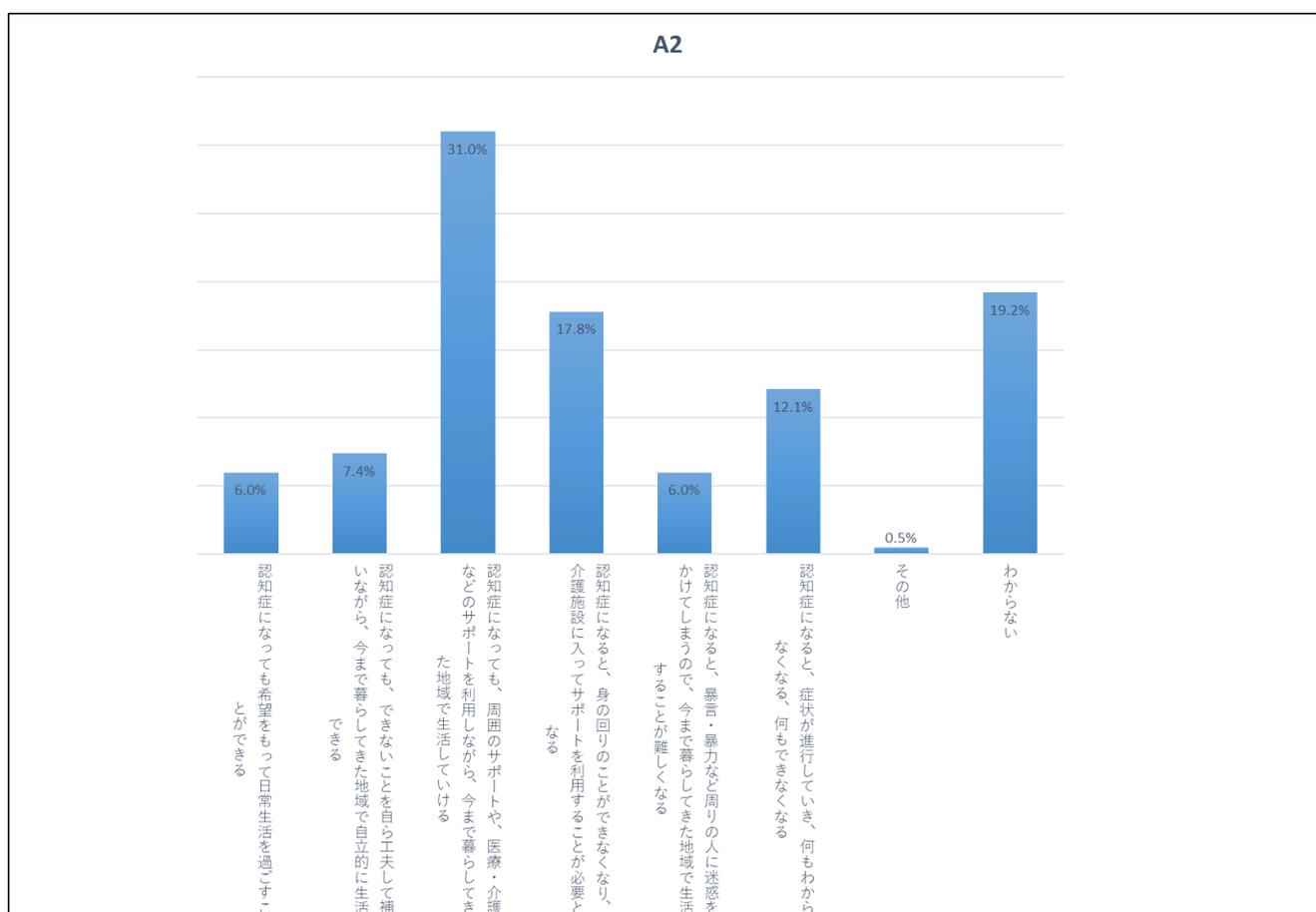
回答	県民
理解している	9.4%
ある程度は理解している	42.1%
あまり理解できていない	38.1%
全く理解できていない	10.4%



「認知症」と「認知症の人」に関する正しい理解について、「理解している」、「ある程度は理解している」が 51.5%であった。

設問 A2: 認知症に対してどのようなイメージを持っていますか。最も近いものを1つ選んでください。

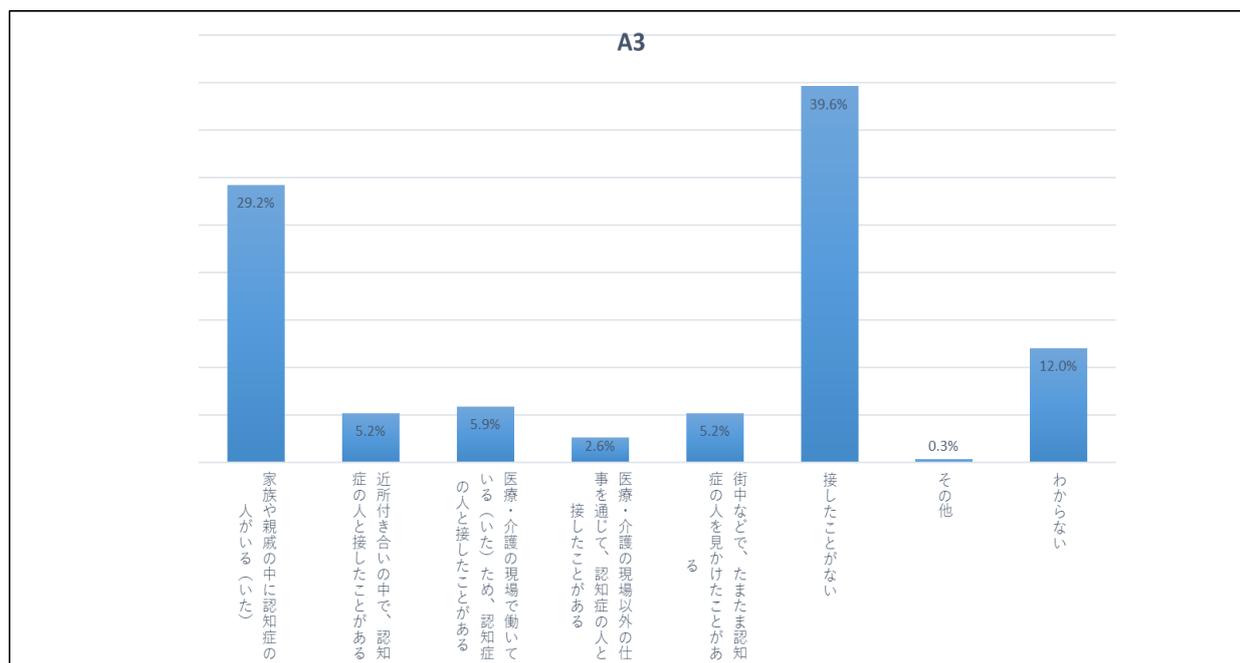
回答	県民
認知症になっても希望をもって日常生活を過ごすことができる	6.0%
認知症になっても、できないことを自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で自立的に生活できる	7.4%
認知症になっても、周囲のサポートや、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける	31.0%
認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要となる	17.8%
認知症になると、暴言・暴力など周りの人に迷惑をかけてしまうので、今まで暮らしてきた地域で生活することが難しくなる	6.0%
認知症になると、症状が進行していき、何もわからなくなる、何もできなくなる	12.1%
その他	0.5%
わからない	19.2%



認知症に対するイメージについて、「認知症になっても、周囲のサポートや、医療・介護などのサポートを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していける」と回答した割合が 31.0%で最も大きかった。次に割合が大きかった回答は、「わからない」19.2%で、その次に割合が大きかった回答は、「認知症になると、身の回りのことができなくなり、介護施設に入ってサポートを利用することが必要となる」17.8%であった。

設問 A3: 今までに認知症の人と接したことがありますか。最も近いものを1つ選んでください。

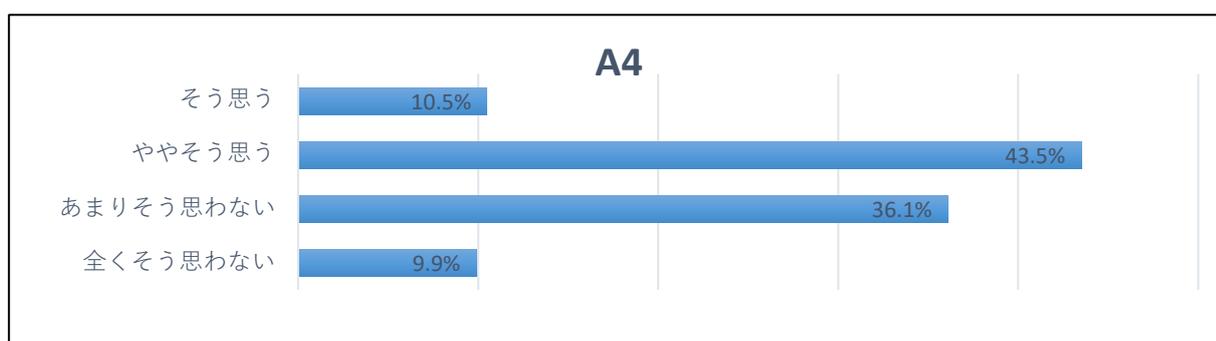
回答	県民
家族や親戚の中に認知症の人がいる (いた)	29.2%
近所付き合いの中で、認知症の人と接したことがある	5.2%
医療・介護の現場で働いている (いた) ため、認知症の人と接したことがある	5.9%
医療・介護の現場以外の仕事を通じて、認知症の人と接したことがある	2.6%
街中などで、たまたま認知症の人を見かけたことがある	5.2%
接したことがない	39.6%
その他	0.3%
わからない	12.0%



認知症の人と接した経験について、「接したことがない」が 39.6%で最も割合が大きかった。

設問 A4: 認知症の人が困っていたら、迷わず手を貸せますか。最も近いものを1つ選んでください。

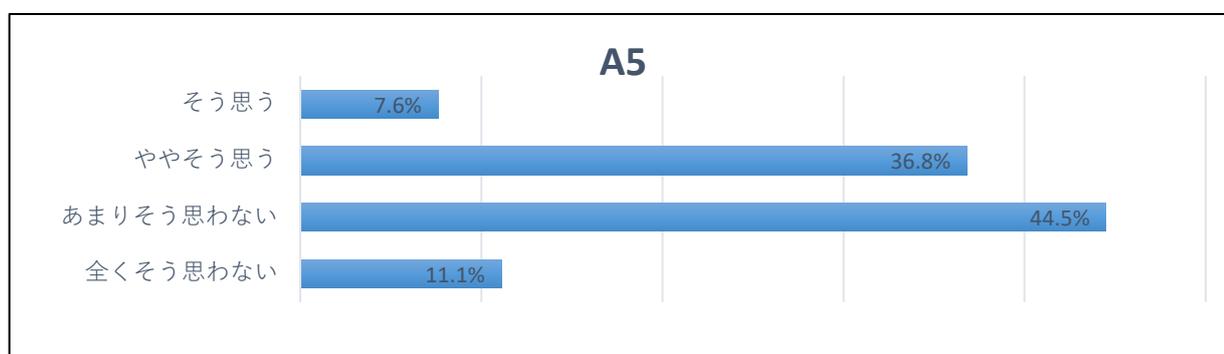
回答	県民
そう思う	10.5%
ややそう思う	43.5%
あまりそう思わない	36.1%
全くそう思わない	9.9%



「認知症の人が困っていたら、迷わず手を貸せるかについて、「そう思う」および「ややそう思う」と回答した割合が 54.0%と高かった。

設問 A5: 認知症の人と喜びや楽しみを分かち合えますか。最も近いものを1つ選んでください。

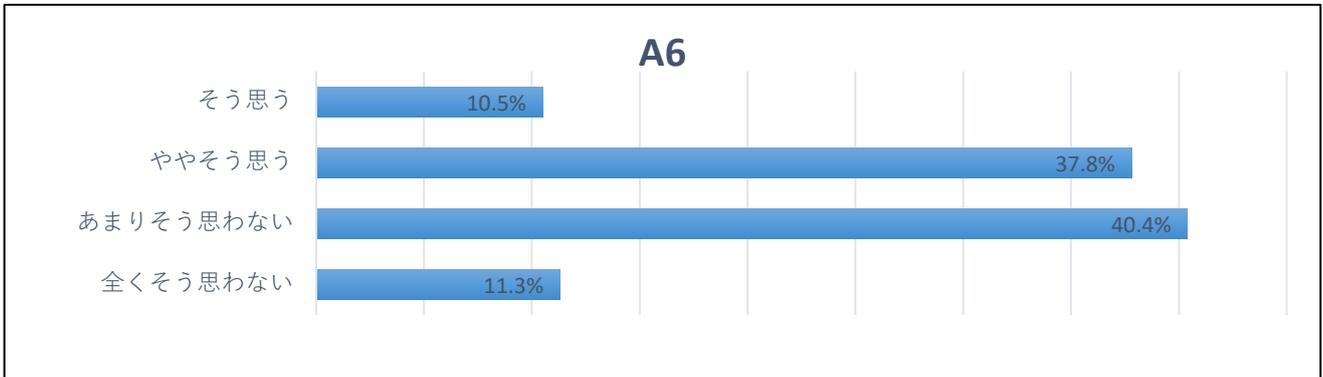
回答	県民
そう思う	7.6%
ややそう思う	36.8%
あまりそう思わない	44.5%
全くそう思わない	11.1%



認知症の人と喜びや楽しみを分かち合えるかについて、「あまりそう思わない」が 44.5%で最も割合が大きかった。

設問 A6 認知症の人と、ちゅうちょなく話せますか。最も近いものを1つ選んでください。

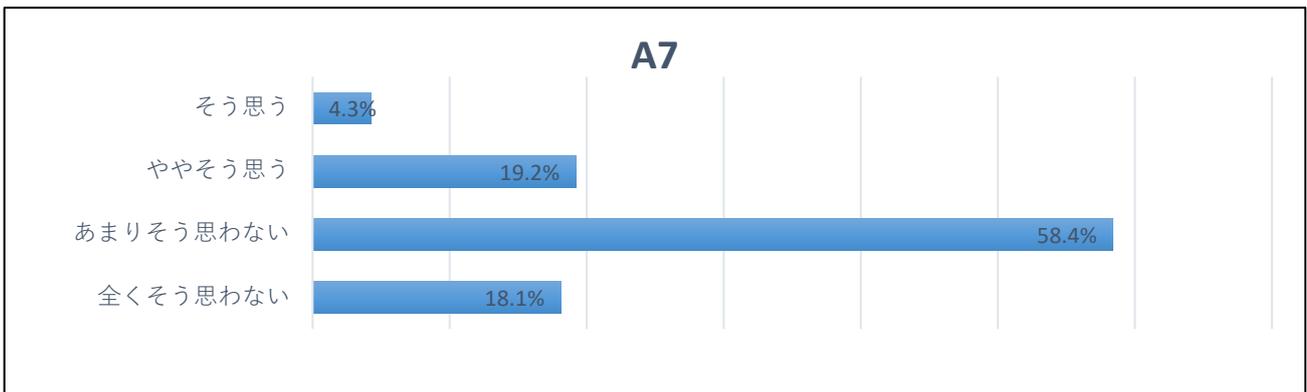
回答	県民
そう思う	10.5%
ややそう思う	37.8%
あまりそう思わない	40.4%
全くそう思わない	11.3%



認知症の人とちゅうちょなく話せるかについて、「あまりそう思わない」が 40.4%で最も割合が大きかった。

設問 A7 認知症の人と積極的に関わりたいと思いますか。最も近いものを1つ選んでください。

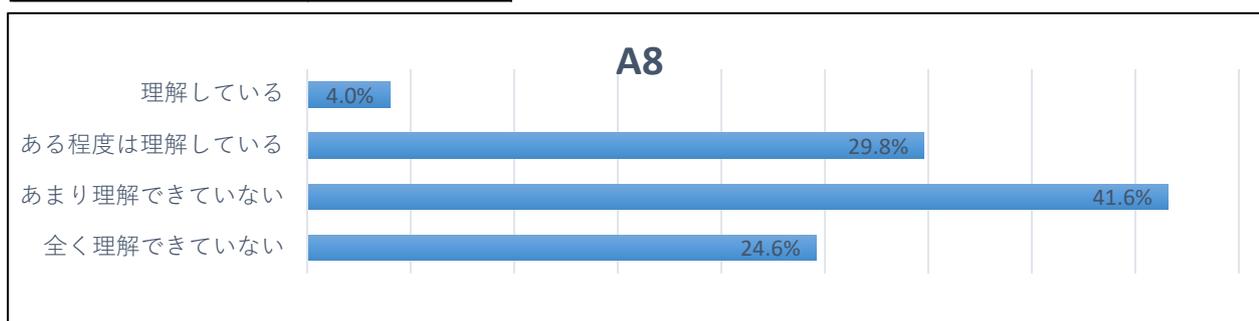
回答	県民
そう思う	4.3%
ややそう思う	19.2%
あまりそう思わない	58.4%
全くそう思わない	18.1%



認知症の人と積極的に関わりたいと思うかについて、「あまりそう思わない」が 58.4%で最も割合が大きかった。

設問 A8 2023 年6月、「共生社会の実現を推進するための認知症基本法(以下、認知症基本法)」が成立し、2024 年12月に国は認知症施策推進基本計画を策定しました。その計画のなかで「新しい認知症観」が示されました。あなたは「新しい認知症観」を理解していると思いますか。最も近いものを1つ選んでください。

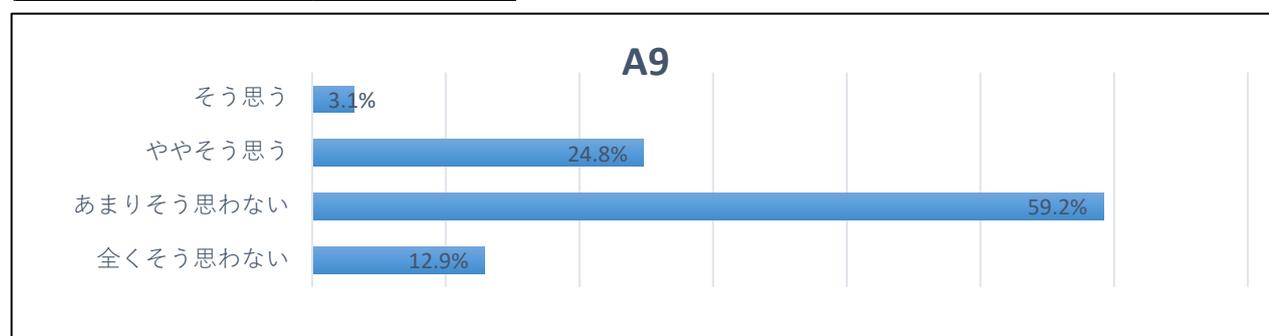
回答	県民
理解している	4.0%
ある程度は理解している	29.8%
あまり理解できていない	41.6%
全く理解できていない	24.6%



共生社会の実現を推進するための認知症基本法に対する認知について、「あまり理解できていない」が41.6%で最も割合が大きかった。

設問 A9 あなたは、「地域生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重され、本人が望む生活が継続できている」と思いますか。最も近いものを1つ選んでください。

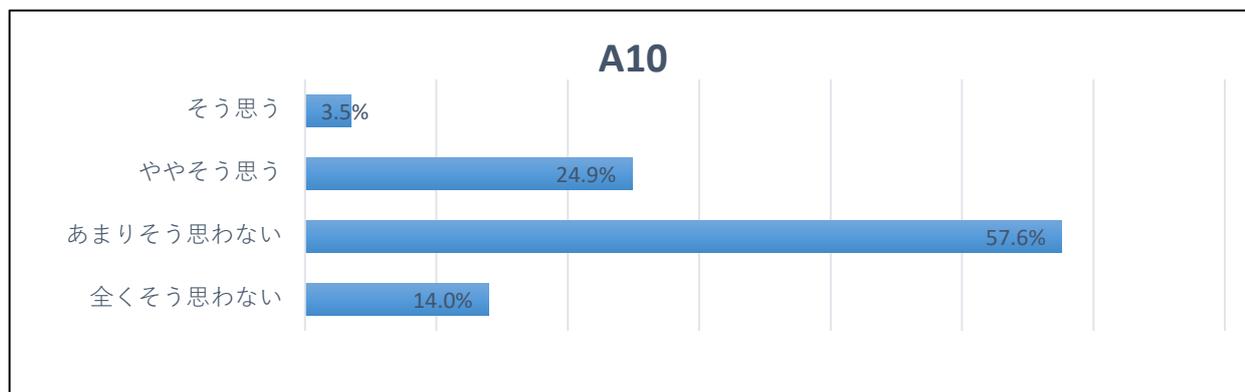
回答	県民
そう思う	3.1%
ややそう思う	24.8%
あまりそう思わない	59.2%
全くそう思わない	12.9%



地域生活の様々な場面において、認知症の人の意思が尊重され、本人が望む生活が継続できていると思うかについて、「あまりそう思わない」が59.2%で最も割合が大きかった。

設問 A10 あなたは、「認知症の人が自分らしく暮らせる」と思いますか。最も近いものを1つ選んでください。

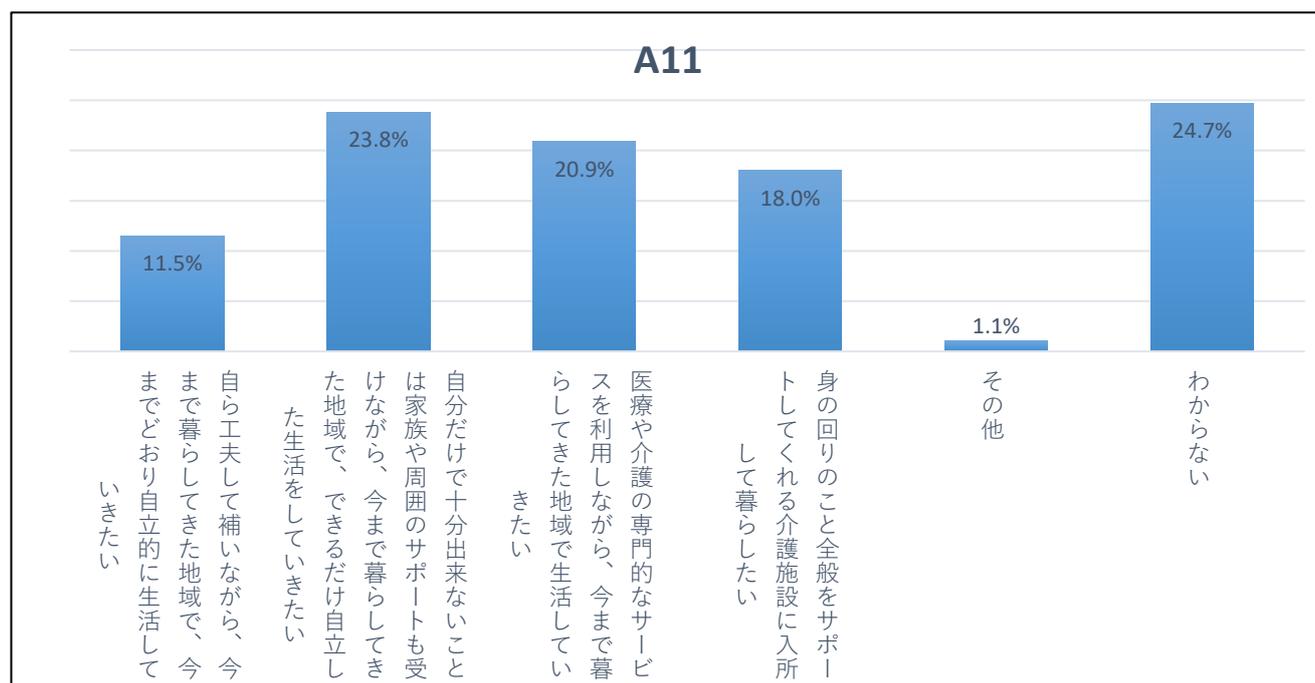
回答	県民
そう思う	3.5%
ややそう思う	24.9%
あまりそう思わない	57.6%
全くそう思わない	14.0%



認知症の人が自分らしく暮らせる」と思いますかについて、「あまりそう思わない」が 57.6%で最も割合が大きかった。

設問 A11 もし、あなたが認知症になったら、どのように暮らしたいと思いますか。あなたが思う最も近いものを1つ選択してください。なお、ご自身が認知症の診断を受けている場合は、今後の暮らし方の希望について、最も近いものを1つ選んでください。

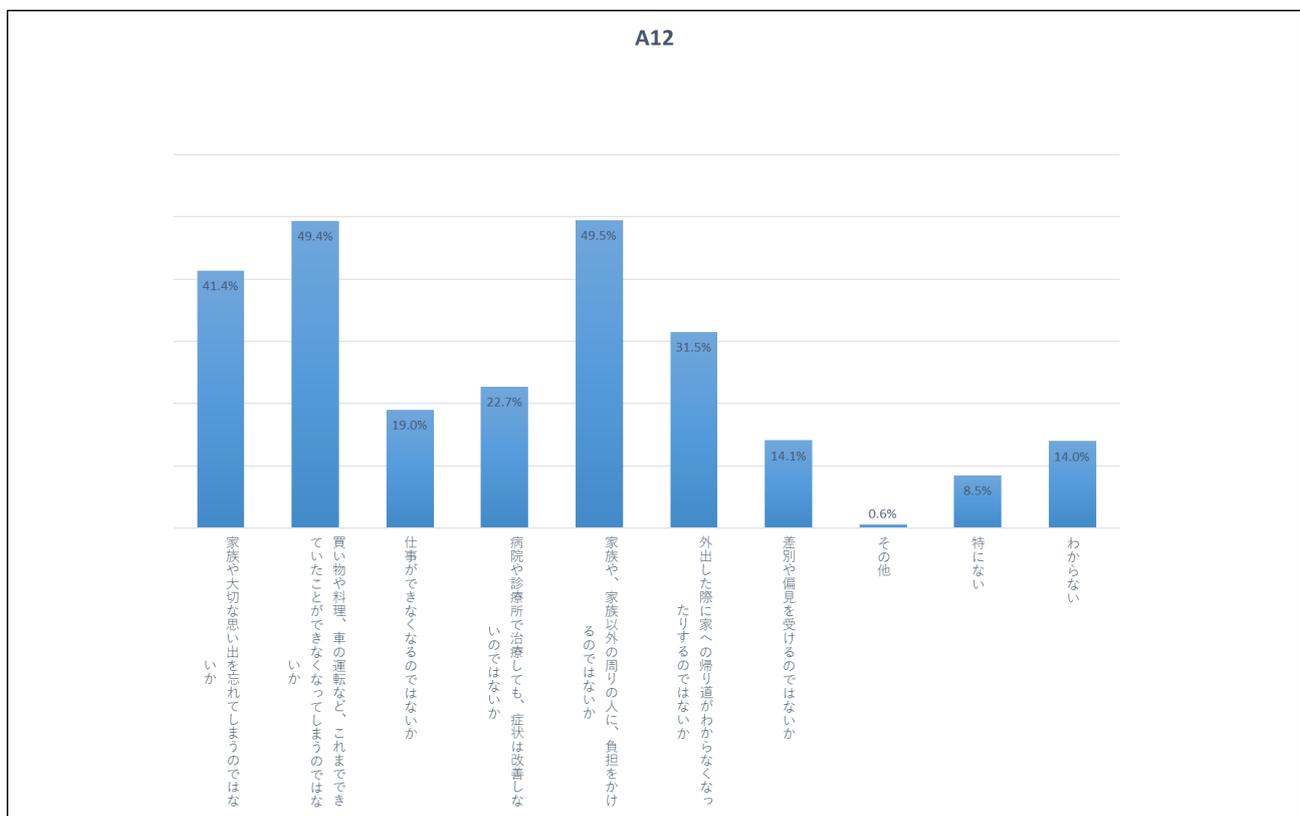
回答	県民
自ら工夫して補いながら、今まで暮らしてきた地域で、今までどおり自立的に生活していきたい	11.5%
自分だけで十分出来ないことは家族や周囲のサポートも受けながら、今まで暮らしてきた地域で、できるだけ自立した生活をしていきたい	23.8%
医療や介護の専門的なサービスを利用しながら、今まで暮らしてきた地域で生活していきたい	20.9%
身の回りのこと全般をサポートしてくれる介護施設に入所して暮らしたい	18.0%
その他	1.1%
わからない	24.7%



認知症になった場合の暮らしに関する意向について、「自分だけで十分出来ないことは家族や周囲のサポートも受けながら、今まで暮らしてきた地域で、できるだけ自立した生活をしていきたい」が23.8%で、「わからない」が24.7%で最も割合が大きかった。

設問 A12 もし、あなたご自身が認知症になったら、どのようなことに不安を感じると思いますか。特に不安と感じるものとして、当てはまるものを全て選んでください。なお、ご自身が認知症の診断を受けている場合は、現在、特に不安に感じていることを選択してください。(複数回答あり)

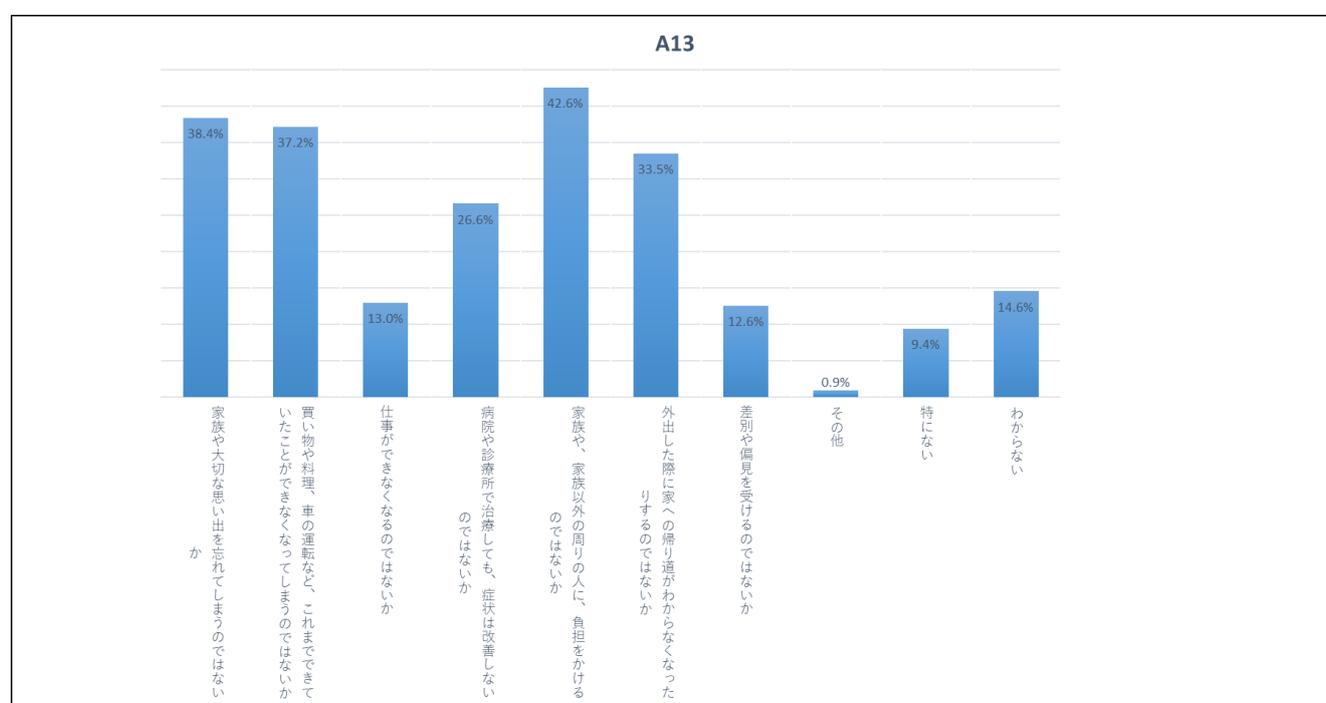
回答	県民
家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないか	41.4%
買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか	49.4%
仕事ができなくなるのではないか	19.0%
病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないか	22.7%
家族や、家族以外の周りの人に、負担をかけるのではないか	49.5%
外出した際に家への帰り道がわからなくなったりするのではないか	31.5%
差別や偏見を受けるのではないか	14.1%
その他	0.6%
特にない	8.5%
わからない	14.0%



自分自身が認知症になったら、どのようなことに不安を感じるかについて、「買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないか」が 49.4%であり、「家族や、家族以外の周りの人に、負担をかけるのではないか」が 49.5%と、不安に感じている割合が大きかった。

設問 A13 もし、あなたのご家族が認知症になったら、あなたはどのようなことに不安を感じるとお考えですか。なお、現在、ご家族に認知症の人がいる場合は、特に不安を感じていることを選んでください。

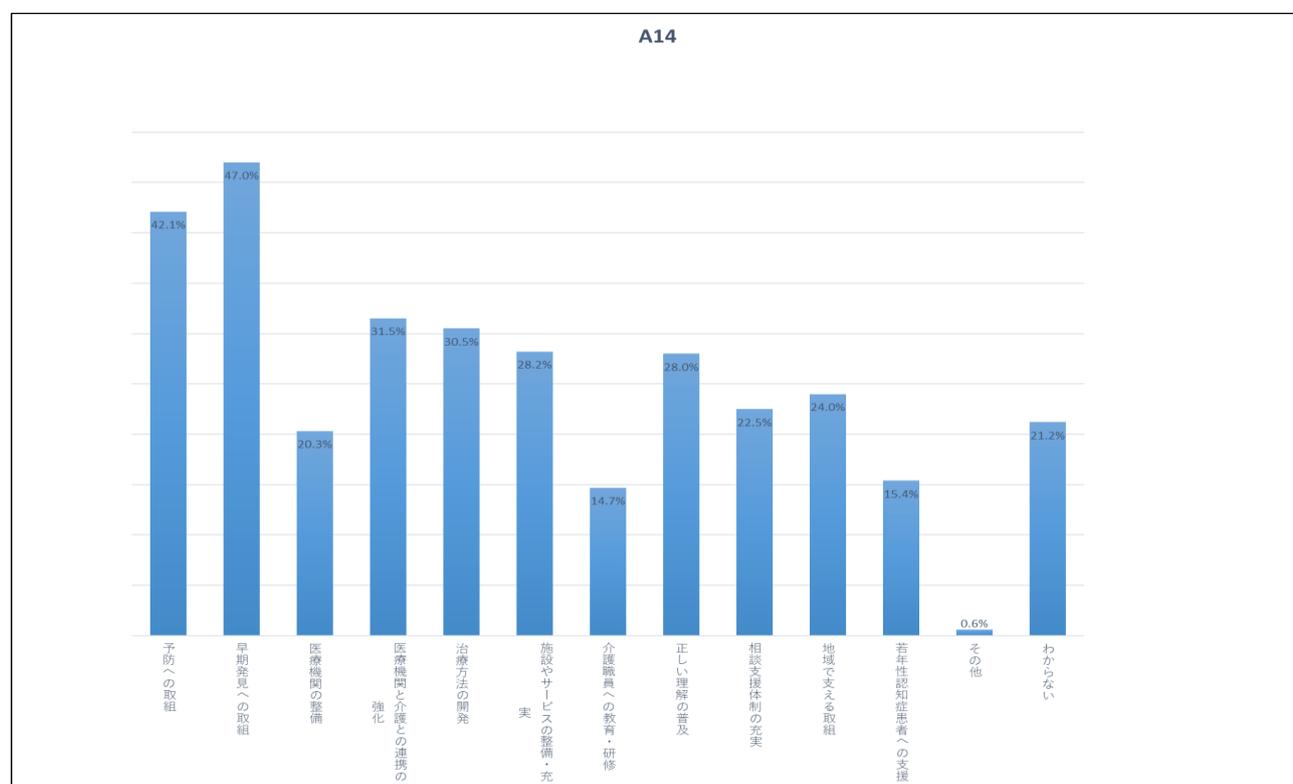
回答	県民
家族や大切な思い出を忘れてしまうのではないかと	38.4%
買い物や料理、車の運転など、これまでできていたことができなくなってしまうのではないかと	37.2%
仕事ができなくなるのではないかと	13.0%
病院や診療所で治療しても、症状は改善しないのではないかと	26.6%
家族や、家族以外の周りの人に、負担をかけるのではないかと	42.6%
外出した際に家への帰り道がわからなくなったりするのではないかと	33.5%
差別や偏見を受けるのではないかと	12.6%
その他	0.9%
特になし	9.4%
わからない	14.6%



家族が認知症になったら、どのようなことに不安を感じるかについて、「家族や、家族以外の周りの人に、負担をかけるのではないかと」が 42.6%で最も大きかった。

設問 A14 社会として、最も重点を置くべき認知症施策について、重要だと思うものを選んでください。(複数回答あり)

回答	県民
予防への取組	42.1%
早期発見への取組	47.0%
医療機関の整備	20.3%
医療機関と介護との連携の強化	31.5%
治療方法の開発	30.5%
施設やサービスの整備・充実	28.2%
介護職員への教育・研修	14.7%
正しい理解の普及	28.0%
相談支援体制の充実	22.5%
地域で支える取組	24.0%
若年性認知症患者への支援	15.4%
その他	0.6%
わからない	21.2%



社会として、最も重点を置くべき認知症施策について重要だと思うものは、「早期発見への取組」が、47.0%で最も大きかった。次に、「予防への取組」が42.1%であった。